

# 新型コロナウイルス 感染症対策に関する 追加要望 第4弾

戸田市議会会派 戸田の会

酒井 郁郎

浅生 和英

佐藤 太信

矢澤 青河

令和2年7月31日

戸田市長 菅原文仁様

日頃より、執行部の皆様には新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただき深く感謝いたします。さて、緊急事態宣言の解除から2ヶ月が経過しました。首都圏では経済活動の再開にともない感染者数が急増し、九州地方においては災害とコロナ対策の両立など、深刻な課題が浮き彫りになっています。

戸田市においても感染者数の増加が続いており、大変懸念される状況となっています。私たち戸田の会は、第1波における課題整理を行い、更なる感染拡大に十分備えることが大切であると考えております。そこで、以下の対応を早急に検討するよう要望いたします。

## 医療体制

- 発熱外来の拡充、検査体制の確保
- コロナ病床・隔離施設の独自確保（民間との協定締結や市医療センターの拠点化を検討）
- 病院の経営状況の調査と支援準備
- 検査キットの独自備蓄、治療薬（アビガン等）の独自入手と処方ガイドライン化
- 介護施設や病院の関係者を対象としたスクリーニング検査の実施
- 自己隔離者、入院待機者支援。日々の食事配達や健康状態確認の実施
- 市独自の専門家会議の立ち上げ。現場の医療従事者の意見を取り入れる体制づくり
- 市独自の統計と、それに基づいた状況判断や情報発信

## 子育て・教育

- 全ての児童・生徒1人1台の端末と通信環境の整備
- 小中学校の休校時における、学習方法の確立（ライブ配信、オンライン学習、自習用教材、担任とのコミュニケーションなどによるベストミックスの構築）
- 休校中の給食センターを利用した弁当配布「おうち給食」の実施
- 感染症蔓延時における自主休園の制度化

# 市民生活

- 訪問介護の減少に対応した事業者支援。専門家による感染防止指導や防護服などの物資支給、協力金の給付などのメニュー用意
- 福祉施設の課題を十分に想定したメニュー用意(下記に例示)
  - ▶利用者・職員の発熱者の発生状況を報告してもらう体制の整備
  - ▶在宅介護者がコロナ感染した際に、高齢者・障害者を一時的に受け入れる拠点の設置
  - ▶施設でクラスターが発生した場合の予備人員の派遣体制想定
  - ▶新規入所者受け入れの際のPCR検査費用や、職員が予防的にホテルに宿泊する場合の経費の負担等
- 高齢者や身体が不自由な方へタクシーや宅配、日用品等に利用できるサポート利用券の交付
- 「こころの相談メール」の対応迅速化
- 新しい生活様式の周知と定着推進
- 新型コロナウイルス感染症警戒レベルの活用(下記に例示)
  - 1.新型コロナウイルス感染症警戒レベルの作成
  - 2.各警戒レベルごとの行動様式、各施設の運営基準、民間施設への要請内容の作成
  - 3.指標その他、独自の基準により警戒レベルを判断し、市民へ要請
- 道満グリーンパークの市民限定開放など、安全な遊び場の確保
- 災害時、避難所における感染症対策や必要な設備・物資の確保
- 申請から支払いまで行政手続きのオンライン化

# 生活支援

- 生活困窮世帯への支援の迅速化や、支援規模の柔軟対応
- 料金減免による支援メニューの経済状況に応じた適用
  - ▶給食費の減免(子育て家庭)
  - ▶水道料金の減免(一般家庭)
- 新生児世帯への支援(特別定額給付金支給対象外であるため)

# 企業支援

- 支援・融資制度の経済状況に応じた迅速な提供
- 公共事業の発注内容や発注時期の調整による市内業者の支援
- 市内業者が参入しやすい事業(電柱地中化工事など)の、経済状況に応じた迅速な発注
- 業務再開の円滑化支援。「新しい日常」対応として、店舗の感染防止費用やリモートワーク導入支援などのメニュー用意
- 市内景況感の定期調査
- 飲食事業者の感染防止対策の促進。ガイドライン作成や、認定制度、ステッカー等認定証の配布等

# 財政確保

- 建て替え計画、修繕計画の厳正な評価と選別
- 事業目的、効果の厳正な評価と、抜本的な見直し
- 財政再建と、将来的な基金積み増し